

富山の大学人ら

富山県内の高等教育機関（大学・短大・高等専門学校）教員有志は10日、憲法違反の「安全保障関連法案」に反対し、廃案を強く訴える声明を発表しました。

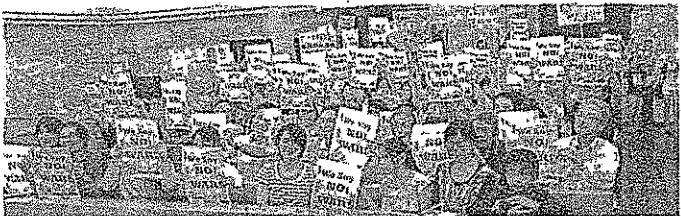
両宮洋司富山大学名誉教授、後藤智富山国際大学准教授、広瀬信富山大学教授、宮井清暢富山大学教授の4人が呼びかけたもので、10日時点で65人が賛同

者になっています。

三重短大の有志

三重短期大学（津市）の「安全保障関連法案」に反対する有志の会は11日、同法案の廃案を求める声明を発表しました。声明は、同法案が参院でも強行採決されかねない状況を受けて法経科などの教員8氏が学内に賛同を呼びかけたもので、わずか4日間で専任教員の8割以上が賛同の声を寄せているといいます。

戦争法案 廃案を



「安保法案」を廃案にしようとアピールする和光学園の人たち＝10日、東京都町田市

される学園の存立基盤を根底から壊す」と呼びかけ、95人が参加しました。

加川博道小学校教諭は「今、法案成立の根っこを揺るがしているのは私たち」とあいさつ。藤田康郎小学校教諭は、集団的自衛権行使容認の閣議決定で、子どもたちが34カ国の大使館に手紙を送り、日本が70年間他国と戦争をせず高い評価を受けていることを学んだ経験を語りました。

東京・和光学園

東京都町田市で10日、「安保法案に反対する和光学園のつどい」が開かれました。

幼稚園から高校までの教職員、保護者らが「戦争法案は『平和』『共生』『生命』に象徴

と語りました。同学園に中学生と高校生の子どもが通う宇多仁美さん(46)は「9・11のテロやイラク戦争を中東で体験した。日本をテロに巻き込む戦争法案は許せない」と語りました。

9/13 赤旗